

二議会だより 196

2025年5月1日発行

三芳町

えがお 輝く新予算

公募写真
ダブル表紙
ご応募ありがとうございます



令和7年度予算

▶ p.2

議会だよりモニター意見交換会

▶ p.14

一般質問

▶ p.16

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

撮影者
藤久保在住 小野 哲さん

次の発行は8月1日の予定です。

過去最大！185億4480万 4千円の予算案が可決！

令和7年
第1回臨時会
(1月24日)
第2回定例会
(2月27日～3月25日)

●主な歳入の用語説明

- ①町税
町に住んでいる人やお店や会社が町に納めるお金
- ②繰入金
町の貯金（財政調整基金など）から取り崩して使うお金
- ③国庫・県支出金・地方譲与税
国や県から町にもらえるお金
- ④町債
国や金融機関などから借りるお金
- ⑤地方消費税交付金
皆さんが払った消費税の一部が町に戻ってきたお金
- ⑥法人事業税交付金
県が企業から集めた法人事業税が、分配されるお金
- ⑦繰越金
去年使わなかったお金を今年に持ち越して使うお金

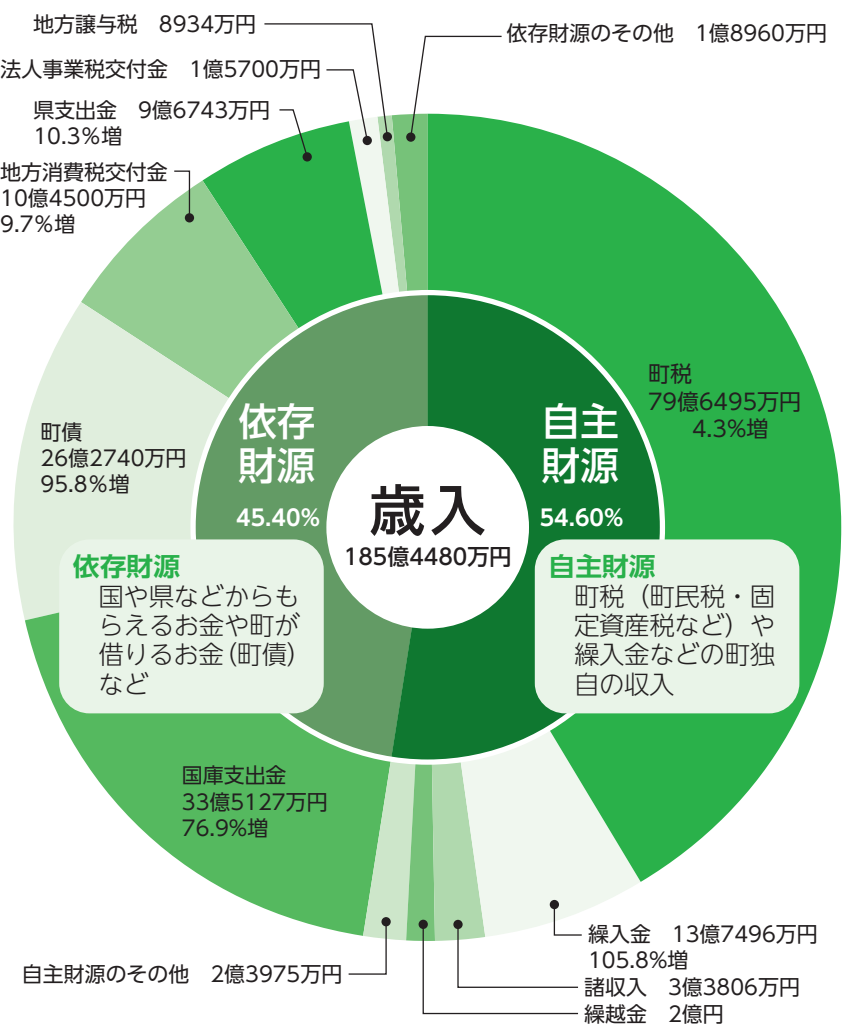
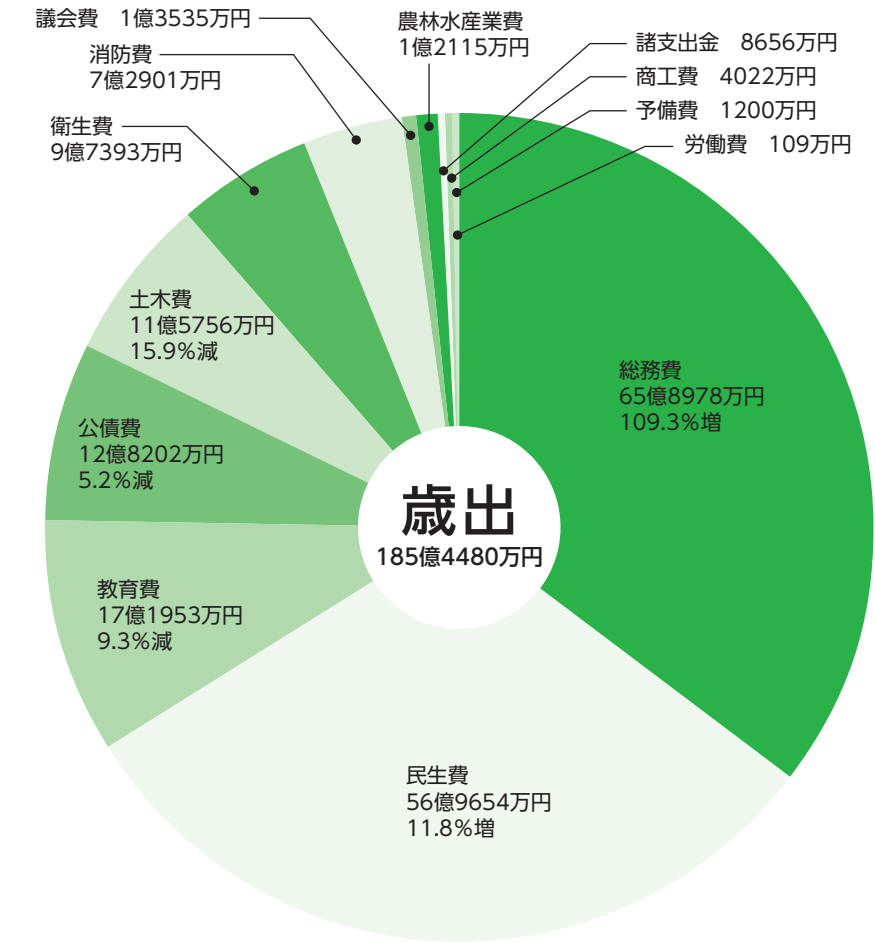
●主な歳出の用語説明

- ①総務費
町の全般的な行政運営にかかる費用。
- ②民生費
お年寄りや、赤ちゃん、困っている人を助けるために使うお金
- ③教育費
学校や図書館の運営・施設の整備のためのお金
- ④公債費
借りたお金を返すためのお金
- ⑤土木費
道路や橋・公園など作ったり、直したりするためのお金
- ⑥衛生費
ごみの収集や町民の健康を守るためのお金
- ⑦消防費
消防や防災活動に関連するお金

令和7年度一般会計予算概要

令和7年度の予算額は185億4480万4000円で、前年度比35億6031万円増（23.8%増）となりました。町税の総額は79億6495万6000円（前年度比4.3%増）と見込まれています。

増加分は、繰入金、国庫支出金、町債の発行によってまかなわれました。予算総額が大きく増加した主な要因は、藤久保地域拠点施設整備等事業サービス購入費、役場のDX化の経費などによるものです。



1月24日に第1回臨時会が、2月27日から27日間の会期で第2回定例会が、開催されました。定例会では、令和7年度予算をはじめ、議案24件、発議1件、報告2件、

同意2件、陳情1件、要望1件、意見書2件が審議されすべて原案通り可決・認定・採択されました。

反討 日本共産党
対論

町内循環ワゴンのコミュニティバス事業、歩道整備着手等は評価できるが、①町独自の物価高騰対策がない。国保税や水道料金引き上げは言語道断だ、②意見を聞くといいながら上富小学校統廃合を本格化している、③「計画ありき」で道の駅計画を進めようとしているなど問題点が多い。

反討 吉村美津子
対論

またもや国際交流事業に2896万6500円もの税金を使う。削除を求める。物価高騰や実質年金の引き下げなどで生活が大変、町民への直接の生活支援策こそ講じるべきだ。また、PR事業や町民の理解を得られていない「道の駅開発計画」は多額の税金投入となるためやめるべきだ。

賛討 牛丸藍子
成論

小中学校への携帯電話設置など教育現場の声が反映された教育予算は高く評価するが、広告収入の減少・記念グッズの長期在庫・ふるさと納税推進事業など町の魅力を伝える事業に課題がある。国際交流関連事業は予算が増大しており、住民理解が得られるバランスを求める。

賛討 公明党
成論

物価高による住民生活への影響やインフラの維持管理など、町においては懸命な財政運営が求められている。主な歳出には、耐震シェルター購入補助、雨水対策で貯水施設整備、放課後こども教室の開室など住民への福祉施策が多く盛り込まれていることに期待し賛成とする。

賛討 三芳みらい
成論

本年予算は前年比35億6千万円増で、藤久保地域拠点施設の整備や町内循環ワゴン導入に加え、三芳みらいが要望した北永井3区幹線5号線と幹線22号線の歩道の整備費が予算化され高く評価する。慎重な財政運営を求めつつ持続可能な町づくりと福祉向上に期待し、賛成する。

定期接種がスタート

③帯状疱疹ワクチン接種事業

・接種回数・費用

【生ワクチン】

1 回接種 3000 円補助

【組換えワクチン】

2 回接種 1 回あたり 13000 円補助

事業費

885 万円
(1070 件)

主な質疑

問 帯状疱疹ワクチン接種の補助は。

答 接種対象は令和 7 年度に対象年齢を迎える方及び一定の疾患や障がい有する方となる。



※詳細な対象条件は町のホームページをご確認ください。

放課後！みんなの居場所

④放課後子ども教室推進事業

・町内の小学校 5 校で小学 1 年生～6 年生を対象に月 2 回程度で放課後子ども教室の活動を行う。定員は各 30 ～40 名、放課後の安全な居場所を提供し、心豊かに過ごせる環境を整える。

事業費

318 万円

主な質疑

問 放課後子ども教室の参加費 1 人 1000 円の理由は。

答 参加費は、子どもの保険料、子どもたちが行う工作費など受益者負担に関わる部分について負担するものを想定している。

問 コーディネーターの役割が大事どの様な方になる予定か。

答 教育の関係者の方や、すでに地域活動として子どもたちと関わりのある市民活動をされている方が引き受ける予定。

20人がオーストラリアに派遣！

⑤オーストラリア親善大使

・三芳町内在住の中学生 20 名を公募し令和 7 年 10 月にオーストラリアのクイーンズランド州へ派遣する。ホストファミリーとの交流や文化体験を通じて国際理解を深めることを目的とする。

事業費

1238 万円

主な質疑

問 オーストラリアとの交流再開の理由は。

答 以前三芳町は交流してきた経緯があり町としては、英語圏での派遣先を検討し今回オーストラリア事業を考えた。

問 令和 7 年度色々派遣事業があるが、選考方法・募集方法は。

答 マレーシアとオーストラリアに両方応募することはできるが、状況によっては募集要件を考慮する可能性がある。



あなたの町の未来予想図！ 予算特別委員会、激論の行方

予算特別委員会とは、町から提出された新年度の予算案が住民全体の立場に立った公平なものであるかなどを審議するために委員会を設置し審議するもの。

予算特別委員会が注目！令和 7 年度主な新規事業

待望の循環ワゴンバス！

①公共交通実証実験

・循環ワゴンによる 3 つの路線を設定し、運行事業者の策定を行う。
10 月から実証実験を開始予定。最終的に本格運用の定着を目指す。

事業費

6558 万円

主な質疑

問 車両は 4 台購入予定だが詳細は。

答 車椅子のリフトを搭載するので定員は 7 名程度。3 路線分と予備車両 1 台の合計 4 台を購入予定。

問 車両の購入に際し、国の補助は。

答 国の補助金は活用していきたい。車の購入に対しても対象になるという話は聞いている。

ついに実現か、歩道整備！

②町道幹線 5 号線丈量図作成及び幹線 22 号線の用地測量・歩道設計業務委託料

・安全な歩行者空間を確保するために新たな歩道整備を進める。

事業費

3169 万円

主な質疑

問 測量の期間は。

答 入札案件になるのであるべく速やかに手続きを進める。

問 22 号線の測量の範囲についてはどうなっているか。

答 大型スーパーからみずほ台駅方面へ幅 2 メートル程度の歩道の整備を進める予定。



洋菓子工場の向かい側で止まっている歩道を駅方面に信号のある交差点まで測量、歩道設計する。(幹線 22 号線)



北永井 3 区付近の大変危険な通学路 (幹線 5 号線)

公 営 企 業 会 計

企業会計は、水道事業や下水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計

区 分		収 入	支 出
水道事業会計	収益的収支	8 億 4650 万円	8 億 5482 万円
	資本的収支	1 億 3880 万円	4 億 5695 万円
下水道事業会計	収益的収支	8 億 617 万円	7 億 6317 万円
	資本的収支	5807 万円	1 億 9814 万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、上下水道会計とも過年度分損益勘定留保資金等で補填する。

水道事業会計の主な事業

- ・町道幹線 7 号線配水管布設替工事
- ・竹間沢東地区における配水管の耐震化、舗装復旧工事及び導水管耐震化工事
- ・浄水場設備の更新工事

主な質疑

- 問 漏水調査業務だがどんな調査をしているのか。
- 答 宅内メーターや止水弁のチェック、音の路線調査、本管からの漏水のチェックを実施している。
- 問 配水管内カメラ調査業務委託内容は。
- 答 不明の管を、カメラを通し確認するもの。

賛 討 成 論 日本共産党

基幹管路の耐震化対策は令和 7 年度 1.1km 分だが、全国平均を下回っているので早く進めることが大事だ。令和 8 年度県水値上げで約 5500 万円支出増になるが、それを加入者負担にするのは問題だ。

国の物価・エネルギー高騰対策に合わせ、一般会計からの補助で対処するよう求めたい。

下水道事業会計の主な事業

- ・上富 243 号線污水管布設替工事
- ・荒川右岸流域下水道事業建設費の一部を負担

主な質疑

- 問 排水管テレビカメラ調査委託で調査距離が6年度の倍以上になっている訳は。
- 答 基幹管路が24kmある。早急に調査したい。
- 問 荒川右岸流域下水道維持管理負担金単価が増えて、構成市町村の負担が上がるのか。
- 答 5年毎の単価見直しにより7年度から11年度が見直された。



特 別 会 計

特定の収入や支出を一般会計と切り離して経理する会計

国民健康保険特別会計予算

歳入歳出総額 35 億 2040 万円 前年度比 (5.0%増) 1 億 6617 万円増

- ・主な増の要因は、保険給付費の増加によるもの。

主な質疑

- 問 一般会計繰入金が増えている要因は。
- 答 繰越金や基金から補填していたが不足し、繰り入れするため。
- 問 生活習慣病重症化予防対策事業負担金はどう生かされているか。
- 答 県等の共同事業で行っている糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施。

反 討 対 論 日本共産党

国民健康保険は同法の冒頭に示されているように「社会保障」であり、その精神に立ち返るべきである。令和 7 年度の国民健康保険税の値上げに続き、その後も引き続き値上げが予定される。多子世帯の均等割減免と国・県に対し財政支援を強く求めていくことを要望し反対する。

反 討 対 論 吉村美津子

加入者に対して 1 億円もの値上げをするもの。

物価高騰の中での負担増は認められない。国際交流や「道の駅」開発は止めて、一般会計から国民健康保険特別会計予算へ 1 億円を繰り入れて、値上げは止めるべきだ。生活が厳しい中での値上げは、生活困窮者を増やすことになるので反対。

後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出総額 7 億 1562 万円 前年度比 (3.4%増) 2338 万円増

- ・主な増の要因は、被保険者数の増加によるもの。

介護保険特別会計予算

歳入歳出総額 33 億 4052 万円 前年度比 (7.5%増) 2 億 3225 万円増

- ・主な増加要因は、保険給付費の介護サービス等諸費、介護予防・生活支援サービス事業費、一般介護予防事業費等によるもの。

主な質疑

- 問 認知症フレンドリー企業登録制度とは。
- 答 企業を対象に町が登録を行う制度になる。
- 問 介護相談員事業どこが増えたか。
- 答 有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅が増えている。





地域包括支援センターの包括的支援事業の人員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

改正の主な内容

人員に関する基準

65 歳以上の第 1 号保険者おおむね 3000 人以上 6000 人未満ごとに、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員の 3 職種または準ずる者を専従・常勤の職員として、それぞれ 1 人以上配置することとしていたところだが、これを原則とした上で、地域包括支援センター運営協議会が必要と認める場合には常勤換算法により配置基準を満たすことが認められるようにするもの。



主な質疑

問 人数を減らしてもいいという条例改正なのか。

答 人員不足のための緩和措置を講じるものだが、当町では、今までの配置となる。

反 討 対 論 日本共産党

複数の地域包括センターの地域を一つにまとめて、3 職種の専門職員がそれぞれ最低 1 名で可能となるよう規制を緩和するというもの。町民の介護認定の遅れや相談者の利便性が損なわれる恐れがある。高齢化が進む中、介護サービス低下につながる今条例による規制緩和は認められない。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例



改正の主な内容

扶養手当

配偶者の扶養手当を廃止し、子どもに係る扶養手当を増額するもの。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
配偶者	6500 円	3000 円	支給しない
子	10000 円	11500 円	13000 円

条例とは…地方公共団体が国の法律とは別に定める自主法

賛 討 成 論 日本共産党

地域手当を引き下げなかったこと、子の扶養手当の増額、その他手当の拡充は評価できるが、配偶者扶養手当の減額、廃止については女性の賃金が低いことや親の介護など配偶者が働きたくても働けない場合もあるなどの現状を鑑みるならば、配偶者扶養手当については考慮を求め賛成する。



共創のまちづくり条例

多様な主体と連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を創り上げる共創のまちづくりを推進するもの。町が共創推進プランを策定しプラットフォームを運営すると定めている。

多様な主体とは

住民、産業界、官公庁、大学等、研究機関、金融機関、労働団体、言論界、土業、医療としての師を加えた個人、法人その他団体のことをいう。



主な質疑

問 カタカナ文字が多い、高齢者等にわかりにくいのでは。

答 わかりにくい部分があるとも考える。ホームページなどを使って理解を促したい。

反 討 対 論 吉村美津子

町民と町の連携で、まちづくりはつくるべきだ。

しかし、本条例には産業界や官公庁等が加わる「多様な主体」で進めるとある。国の DX 化の推進や PFI 方式の大手企業の儲けなど開発優先のまちづくりになるのではと危惧する。

町民の暮らしの支援策、福祉施策の向上こそ優先すべきだ。

賛 討 成 論 公明党

人口減少社会による地域経済への影響など課題に直面するなか、

行政だけでなく多様な主体が連携・協力してまちづくりに取り組む必要性が高まっている。条例制定で、その為の枠組みや推進体制が明確になり、地域社会全体でまちづくりに取り組む基盤となることを期待し賛成する。

環境基本条例

環境の保全及び創造に係る基本理念、基本的施策等について必要な事項を定めるもの。

主な質疑

問 これまでより前進した措置に期待できるか。

答 今後課題を模索し発展的な政策展開に努める。



賛 討 成 論 日本共産党

町民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとして重要な目的が掲げられている。また景観、歴史的文化的な環境の保全という世界農業遺産認定自治体に相応しい対応が求められるが、ごみの不法投棄など実行性の点が懸念される。実効性のある生きた条例とすることを求め賛成する。

令和7年第1回三芳町議会臨時会

●令和6年度一般会計 補正予算（第6号）



歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億6254万円が追加され、令和6年度一般会計は歳入歳出予算総額166億8573万円となりました。

・国の重点支援地方交付金と一般財源を活用

住民税非課税世帯等への給付金 * 4300世帯×3万円=1億2900万円

住民税非課税世帯等こども加算給付金 * 700人×2万円=1400万円

●令和6年度一般会計 補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6800万円が追加され、令和6年度一般会計は歳入歳出予算総額167億5373万円となりました。

・職員人件費

給与改定及び特別職期末手当支給率改定により6754万円

・議会運営 議員期末手当支給率改定により45万円



【条例改正】

●町長、副町長の給与が改定されます。（月額 単位：円）

	改定額	現行
町長	780000	750000
副町長	660000	640000

●教育長の給与が改定されます。（月額 単位：円）

	改定額	現行
教育長	625000	610000

●29年ぶりに三芳町議会議員の報酬が改定されます。

（月額 単位：円）

	改定額	現行
議長	358000	326000
副議長	300000	272000
委員長	286000	260000
副委員長	280000	254000
議員	278000	252000



令和6年度 一般会計 補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億7712万円が追加され、令和6年度一般会計は歳入歳出予算総額169億3086万円となりました。

<主な概要・質疑>

防犯対策事業補助金 450万円

- ・住宅の防犯対策として防犯機器等への購入補助。
- ・購入費用の1/2（1万5000円を上限）を補助。300世帯を予定。

問 いつから購入したものが対象となるか。

答 4月1日以降購入された方が対象となる。

問 1世帯で複数購入の場合は。

答 1世帯につき1件の申請とする。
（複数購入した場合は合算して申請もできるが補助額の上限に変更はない）

問 300世帯とした根拠は。

答 他自治体を参考にして世帯按分で1%程度の申請を見込んだ。



町のホームページをご確認ください。

経済活動回復事業 254万円

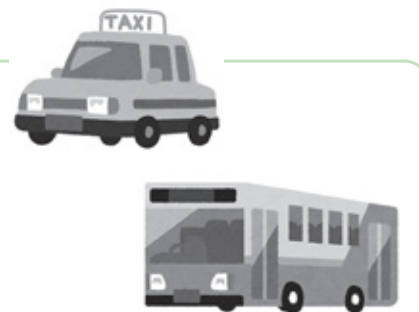
- ・国の重点支交付金を活用し、地域の公共交通事業者を支援する。

問 支援の内容は。

答 バス事業者には系統路線ごとに20万円、タクシー事業者には一台につき1万円で134台分を支援する予算となっている。

問 交付方法は。

答 制度をお知らせし申請してもらうようになる。



補助金減額・不採択

<都市構造再編集中支援事業費補助金について> 藤久保地域拠点施設分

問 国庫補助金の都市構造再編集中支援事業費補助金が1億542万円減額となった理由は。

答 この交付金を活用して整備している自治体が増えているため内示率が低い形で確定してしまった。

問 内示率が下がり減額となったことによる影響がほかに及ぶのでは。

答 補助金については令和6年度から10年度までの期間で申請してあるが、情報収集につとめ影響が出ないよう補助金の活用と確保につとめていきたい。

<LPガス振興センターの補助金について> 小中学校体育館空調分

問 LPガス振興センターの補助金は金額も大きいですが、不採択となっている理由は。

答 補助金申請のスケジュールが変更となってしまう、予定している体育館空調工事開始の時期に合致しなくなってしまうため、補助金の活用はできなかった。



令和 7 年第 2 回定例会　審議結果		議員名	三芳みらい	日本共産党	公明党	輝	菊地									
結果		池上義典	細谷光弘	長野真寿美	林善美	細田三恵	光下重之	増田磨美	本名洋	内藤美佐子	小松伸介	桃園典子	久保健二	吉村美津子	牛丸藍子	菊地浩二
三芳町地域包括支援センターの包括的支援事業の人員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い改正するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	○	○	×	○	○
三芳町体育施設条例の一部を改正する条例（竹間沢テニスコートの廃止に伴い借地を返還するため改正するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（刑法等の一部を改正する法律の公布に伴い関係条例の一部を改正するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（令和 6 年の人事院勧告に伴い扶養手当、管理職員特別勤務手当、住居手当の支給要件等を改正するとともに給与表の改正を行うもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例（令和 6 年の人事院勧告を踏まえ町職員の給与改正をおこなうため、企業職員も同様に改正するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（法改正により仕事と育児・介護の両立のための措置を講ずるもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
財産の取得について（中学校の教科用図書の改訂に伴い教師用指導書等を購入するために議決を求めるもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について（3 路線を町道とするため提案するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
報告																
専決処分事項の報告について（三芳町税条例の一部を改正する条例）（私立学校法の一部を改正する法律の施行に伴い、三芳町税条例の一部を改正する条例を専決処分したもの）		報告のみ														
専決処分事項の報告について（三芳町税条例等の一部を改正する条例）（デジタル手続き法案等の一部を改正する法律の施行に伴い、三芳町税条例の一部を改正する条例を専決処分したもの）		報告のみ														
同意																
三芳町教育委員会委員の任命同意について		原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町副町長の選任同意について		原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○
陳情・要望																
陳情書（1. 各種「空き家事業」で宅建協会会員へ取り次ぐ際に評価証明等の情報開示について空き家所有者の了解を取り付ける件 2. 空き家等活用促進地区の設定に関する件 3. 空き家を買取再販した物件の購入者に対する助成措置に関する件）		配布のみ														
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書		配布のみ														
政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める要望書		配布のみ														
発議・意見書																
三芳町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例（法改正により所要の規定を整備するために文言等を改正するもの）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
再審法の速やかな改正を求める意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
若者の政治参加を促進するための改革を求める意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○

.....

同意しました

任期満了に伴う委員の選出に同意しました。

同意第1号
三芳町教育委員会委員
島田 喜昭氏

同意第2号
三芳町副町長
石田 英則氏

意見書

再審法の速やかな改正を求める意見書

「袴田事件」は逮捕から昨年の無罪確定まで58年も要している。えん罪事件は国家による人権侵害であり、奪われた人権は速やかに回復されねばならない。しかし現行法では再審手続き規定が不十分のため再審に至るまで困難を極めている。再審手続きが迅速に進むよう法改正を求める。

提出先
国関係機関

■ 議員の賛否公開します



◀詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。 ○賛成 ×反対

令和7年第1回臨時会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい 池上 細谷 長野 林 善美 三恵	日本共産党 光下 増田 磨美	公明党 本名 内藤美佐子	輝 小松 桃園 久保 健二	吉村美津子	菊地 浩二
議案等名称								
専決処分の承認を求めることについて（令和6年度三芳町一般会計補正予算（第6号））（住民税非課税世帯等とそのこどもへの給付金を措置するための補正予算を専決処分したもの）		原案承認	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（三芳町議会議員の期末手当を引き上げるとともに三芳町特別職報酬等審議会の答申に基づき、議員報酬を改定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	
町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例（町長および副町長の期末手当を引き上げるとともに三芳町特別職報酬等審議会の答申に基づき、給与を改定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	× × ×	議長 ○ ○	○ ○ ○	×	
教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例（教育長の期末手当を引き上げるとともに三芳町特別職報酬等審議会の答申に基づき、給与を改定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	× × ×	議長 ○ ○	○ ○ ○	×	
三芳町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（令和6年の人事院勧告に伴い職員の給与を改定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	
令和6年度三芳町一般会計補正予算（第7号）（議員報酬、町長、副町長、教育長及び職員の給与並びに期末手当の支給額改定により本予算を補正するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	
令和6年度三芳町下水道事業会計補正予算（第2号）（三芳町職員の給与に関する条例の改正により本予算の改正をするもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	
令和6年度三芳町水道事業会計補正予算（第3号）（三芳町職員の給与に関する条例の改正により本予算の改正をするもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○ ○	○	

○賛成 ×反対

令和7年第2回定例会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい 池上 細谷 長野 林 善美 三恵	日本共産党 光下 増田 磨美	公明党 本名 内藤美佐子	輝 小松 桃園 久保 健二	吉村美津子	菊地 浩二
令和7年度当初予算								
令和7年度三芳町一般会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	× × ×	議長 ○ ○	○ ×	○ ○	
令和7年度三芳町国民健康保険特別会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	× × ×	議長 ○ ○	○ ×	○ ○	
令和7年度三芳町介護保険特別会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和7年度三芳町後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	× × ×	議長 ○ ○	○ ×	○ ○	
令和7年度三芳町下水道事業会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和7年度三芳町水道事業会計予算		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ×	○ ○	
令和6年度補正予算								
令和6年度三芳町一般会計補正予算（第8号）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和6年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和6年度三芳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和6年度三芳町下水道事業会計補正予算（第3号）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
令和6年度三芳町水道事業会計補正予算（第4号）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
条例制定・改正、契約締結、道路線認定								
会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例（会計年度任用職員の期末・勤勉手当を常勤職員と同様に年度途中の改定により支給することを可能とするもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
町道幹線7号線（都市計画道路）道路築造工事変更請負契約の締結について（工期の延長と合わせて請負契約金額を増額する契約変更に議決を求めるもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
三芳町共創のまちづくり条例（多様な主体と連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を創り上げる共創のまちづくりを推進するための条例を制定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ×	○ ○	
三芳町環境基本条例（現在と未来の町民の健康で文化的な生活のため、環境保全と創造の基本理念と施策を定めるため条例を制定するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	
三芳町下水道条例の一部を改正する条例（下水道法施行令の一部改正に伴い三芳町下水道条例を改正するもの）		原案可決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	議長 ○ ○	○ ○	○ ○	

委員会活動報告

委員会説明

常任委員会は町の行政サービスの内容などを調査し、改善のための提案をします。また、住民からの請願や陳情を専門的な視点から審査・調査を行い、町政をより良くしていく役割を果たしています。

総務常任委員会 所管事務調査報告



どう進む 今後の地域公共交通事業



- 視察地
 - ・埼玉県伊奈町
 - ・埼玉県ふじみ野市
- 調査日
 - ・令和7年1月22日（水）
- 調査内容
 - ・伊奈町循環バス「いなまる」
 - ・ふじみ野市循環ワゴン「ふじみん号」
- 調査目的
 - ・町から、令和7年10月より地域公共交通計画に沿って町内循環ワゴンの施行運転を開始するとの報告があり総務常任委員会として調査。



「いなまる」伊奈町循環バス

《運行経費》
2億3887円（7年間：1年3412万円）
《運賃》100円
無料：70歳以上、未就学児
障がい者及び介助者

「ふじみん号」循環ワゴン

《運行経費》
7193万円（5年間）
《運賃》200円
障がい者等に減免制度有り



●町での事業展開について

交通の観点からの福祉施策の強化、所沢市など近隣市との接続による利便性の向上、乗り降りしやすい工夫、循環ワゴンとひと目でわかるラッピング車両の導入、狭隘な道路への対応等の施策が重要と考えられる。施行運転期間中は、利用者の意見収集やニーズの把握に努め、改善につながるよう考えて頂きたい。

第4回

議会だよりモニター 意見交換会

195号を
読んで



議会だよりに!!



議会への陳情・要望等の説明を掲載していただいたが、今までの事例があればあわせて紹介してはどうか。



陳情・請願・要望などの提出をオンラインを可能にしてはどうか。



主催者である町民が自由に要望などできるように、二次元コードから記入できるようにし、内容をまとめたり工夫をすることで声が届きやすくなるのでは。



表紙写真を公募するというのは住民参加で議会だよりが身近かに感じられて良いと思う。



一般質問のページのタイトルを「ズバリ町政を問う」とデフォルメしたのは目を引くデザインとなりとても良いと思う。



議会だよりの購読状況を把握するためにアンケート調査をしてはどうか。



議会だよりを紙媒体だけでなく二次元コードなどから動画配信へとべるような仕組みをつくり見やすくする工夫をしてはどうか。



文字の大きさや写真もたくさんあり読みやすかった。



傍聴席からのページは、よく読んでいます。正に一般住民の声だと思う。このページをもっと前にもってきてはどうか。

議会だよりモニターを終えて

モニターさんトーク

リモートで参加させて頂いたこともあった。今後の地域活動でも宜しくお願いします。

一部かもしれないが町政というものに触れ中身を見ることができ大変有意義だった。これからも議会だよりを気にしてみたい。

議会だよりモニターも3度目となり、以前より読みやすくなっている感じがして、モニターの声が議会だよりに反映されていることを実感しています。もしまた機会があれば参加させていただきたい。

1年間ありがとうございました!

今まで議会だよりにはあまり関心がなかったが、モニターになってから関心をもって読むようになり議員も身近に感じるようになった。



今まで議会だよりはみていませんでしたが、今回を機に読んでいきたい。友人や知人にも伝えていきたい。



命守る火災対策・道路陥没対策を



- 問** 火災発生危険箇所の発見に努めているか。
- 答 自治安心課** 警防調査年間実施計画に基づき大規模火災に繋がる危険性の高い地域を把握し、消防体制等の充実強化を行っている。
- 問 屋内・屋外消火栓数は。**
- 答 自治安心課** 町内にある屋外消火栓設備74棟、屋内消火栓設備は316棟。
- 問 消火栓や防火水槽等、適正に配置されているか。**
- 答 自治安心課** 消防力の整備指針、消防水利の基準により管内の状況に合わせ白図に位置を落とし把握。
- 問 防火意識向上施策は。**
- 答 自治安心課** 地域連携避難訓練、町民対象の防火講座、行政連絡区で初期消火・避難誘導等を実施。
- 問 被災者支援内容や必要な手続きを冊子にした被災者支援ハンドブック作成は。**
- 答 福祉課** 検討したい。
- 問 被災者支援物資充実は。**
- 答 福祉課** 日本赤十字社埼玉県支部へ要望したい。
- 問 罹災ゴミ対応について**



静岡市の被災者支援ハンドブック

- 問** 火災発生危険箇所の発見に努めているか。
- 答 環境課** 受入先が環境センター。ふじみ野市とも支援充実に向け協議したい。
- ◆道路陥没対策について**
- 問 町内に陥没危険箇所は。**
- 答 道路交通課** 路面下の空洞化把握に向け有効な調査方法を研究し実施を検討。
- 問 八潮市事故後の対応は。**
- 答 上下水道課** 1月29日、国から下水道管路施設の緊急点検指示。大規模な下水処理場に接続する口径二千mm以上の管が対象。当町の管は最大でも八百mm程度で対象外。町独自で点検実施。
- 問 徹底した調査の実施は。**
- 答 上下水道課** 毎年のテレビカメラ調査は問題ないが敷設後49年経過するため、点検の早期実施、計画的な修繕実施に向け、新たな技術等の情報収集に努めたい。



行政事務事業評価について



- 問 当町の事業で、事務事業評価シート全てを公開しないのはなぜか。**
- 答 政策推進室** 今後外部評価委員会と庁内等で検討し全部出せばと考える。
- 問 事務事業評価の成果が出ているか。**
- 答 政策推進室** 185の事業から9の事業を改善し検討委員会にかけ、最終的に6事業の見直しを示された。成果として事業の強化すべき点等で検討の幅が広がった。
- 問 固定資産税は、民間企業にとり大きな負担である。事務事業評価を通じて財源を捻出し、固定資産税の減税を行う考えはあるか。**
- 答 町長** 現時点では厳しいと考えている。他の自治体の事例があるので研究していきたいと思う。
- 行政連絡区・自治会の課題解決について**
- 問 現在行政連絡区の加入率は。**
- 答 自治安心課** 47・1%。
- 問 行政連絡区・自治会役員のなり手不足問題対策は。**
- 答 自治安心課** 毎月の区長



- 問 目的特化型住民組織の導入で、地域で自主防災会を立上げる重要性をどの様に働きかけてきたか。**
- 答 自治安心課** 令和4年から防災講座を行っている。自主防災組織の育成や支援に関わる補助制度も計上している。有効活用を進め新規立ち上げを図りたい。
- 問 1Tを活用し回覧板をデジタル化してはどうか。**
- 答 自治安心課** 地域コミュニケーションDX推進事業でデジタル化の効率化、役員の負担軽減を図る。デジタル化の初期費用も対象に新年度からの活用を周知する。
- 問 会場で地域の課題について情報を共有し、県外視察で新たな知見を学び今後も解決策調査をする。**

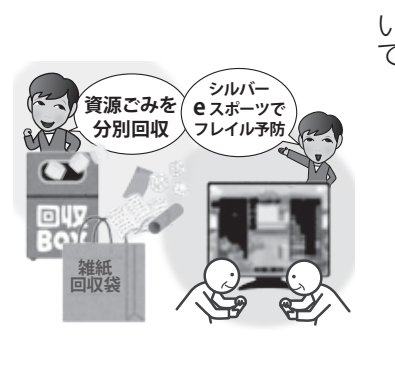
定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



住民参加の町づくりを前へ



- 脱炭素に向けたリサイクルの促進**
- 問 雑がみ回収袋を配布し資源化を促進しては。**
- 答 環境課** 導入効果を検討していきたい。
- 問 令和6年の産業祭でエコキャップ回収とSDGsをアピールされたが効果は。**
- 答 政策推進室** 身近で個人でも出来るSDGsの意識啓発が出来たと思う。
- 問 役場や学校に回収箱を設置し住民全体でエコキャップ回収に取り組んでは。**
- 答 環境課** 回収についての協力事業者の選定や確保などの課題を検討していく。
- フレイル予防に資するシルバースポーツの活用**
- 問 フレイルチェック会のデータはどう反映されるか。**
- 答 健康推進課** 健康教育事業の周知や全国と比較のためデータ蓄積をしていく。
- 問 社会性低下の改善のためシルバースポーツを導入してはどうか。**
- 答 福祉課** 今後も継続的に



- 地域コミュニティ活性化の取り組み**
- 問 地域コミュニティ活性化事業補助金の効果と課題。**
- 答 自治安心課** コロナ後の事業のアシストとなったが行政連絡区への加入促進脱退抑制への施策が必要。
- 問 行政連絡区の課題解決や活性化のため職員の拡大、専門員による助言等体制の強化を図っては。**
- 答 町長** 担当課と住民の連携のあり方をしっかり考えていきたい。また共創のプラットフォームでの専門的知見を頂きながら新しい価値を創造していきたい。
- その他の質問**
- 投票支援リーフレット等について



DXで書かない窓口行かない役場



- 自治体DXとはデジタル技術で行政サービスを改善し、住民の利便性向上や業務効率化を目指す取り組みで三芳町でもすすめられている。三芳町のDXを問う。**
- 問 マイナンバーの導入で2年前より業務効率化や負担軽減はすすんでいるか。**
- 答 政策推進室** マイナンバーの導入で情報連携がすみ行政サービスの効率化を図っている。引越しワンストップサービスや図書館の自動貸出、スマホアプリへのデジタル通知などを導入した。新サービス導入時は事務負担は増加するが、浸透により効率化がすすむと期待している。
- 問 「書かない」「回らない」窓口サービスはすすんでいるか。**
- 答 住民課** 現在は時間の短縮や効率化が図れるよう改善しつつすすめており、今後は対象手続きを拡大できるように検討している。
- 問 政策推進室 回らない窓口は業務改革の検討が必要で、今後の導入を関係各課と検討を重ねたい。**
- 問 行かない役場は。**



DX 図書館図書の自動貸出機

- 答 財政デジタル推進課** 行政手続きのオンライン化による来庁負担の軽減など多様なニーズに対応し、その利便性を実感できるような住民サービスの提供に努めて参りたい。
- 問 町長はDXで住民サービス向上と業務の効率化・負担軽減をどのように考えているか。**
- 答 町長** 三芳町役場では財政課を財政デジタル推進課と課名を変えてDXを推進している。三芳町のDXは指摘があったようにまだまだ道半ばで発展途上だ。DXの技術は日進月歩で進んでいるので最新の技術、先進事例について情報を収集しながら迅速な対応を心がけていきたい。

牛丸 藍子
うし まる あい こ

貧困の連鎖を無くそう



- 問** 相対的貧困とは。
- 答** 福祉課 国の文化水準や生活水準と比較して困窮した状態を指す。世代を超えて貧困状態から抜け出す事が難しい傾向がある。
- 問** 解消するための施策は。
- 答** 福祉課 貧困対策として子ども食堂運営費補助を実施している他、社協が行う第三の居場所の運営補助も予定している。町社協が生活困窮者自立支援法の委託を埼玉県社協から受け、自立相談支援・家計支援・住居確保給付金・一時生活支援等を実施している。関係各課・関係機関と密に連絡を取り支援している。
- 問** 税金の滞納により制限される住民サービスは。
- 答** 税務課 滞納がない事が要件となる制度はある。
- 問** 分納中も制限はあるか。
- 答** 税務課 各課の制度の詳細によるが、滞納がない事が条件となると分納中も制限される可能性はある。
- 問** 水道料金を分納する場合、水道の利用は行えるか。
- 答** 上下水道課 状況により分割払いも応じており、水道の利用は行える。



中学卒業後の子どもに対する支援について

その他の質問

- 問** 食事を十分とれていない等、食生活の課題がある児童生徒を把握しているか。
- 答** 教育センター 検診・教育相談部会・社協・子ども食堂・学習支援教室・相談室・カウンセラーへの本人申告や聞き取りなどから把握している。
- 問** 医療ネグレクトについて実態を把握しているか。
- 答** 教育センター 要受診の診断後に未受診の場合はネグレクトや貧困など家庭環境の要因がないか慎重に経過観察を行っている。不登校等で未受診の場合には関係機関等と連携し児童生徒の状況把握を行っている。

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。

日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み

今、町がすべきことは何か



- 問** 藤久保地域拠点施設整備等事業の進捗状況は。
- 答** 施設マネジメント課 4月からは上部構造工事に取り掛かることとなる。
- 問** 窓を開けて授業をする季節となるが、騒音・振動換気などの対応は。
- 答** 学校教育課 在校時間は極力、振動、騒音など無いように事業者伝えてある。月1回の打ち合わせで教育活動の予定を関係者と共有している。
- 問** 校庭代替地を含め、暑い季節を迎える準備は。
- 答** 学校教育課 校庭代替地にはテントを2張り準備して熱中症対策に取り組む。
- 問** 小学校児童の横断時や教員を補佐するスクールサポート・スタッフは。
- 答** 学校教育課 配置すること考えている。
- 問** 工事中、児童の声を聴くための意見箱やカウンセリングなどの対応状況は。
- 答** 学校教育課 相談室の前にポストを置いた。児童の声を聴き、ストレス、不安に寄り添っていく。



- 支援が必要な子どもたちに寄り添って**
- 問** 物価の高騰もあるが就学援助の入学準備金では夏冬の制服は購入できない。更に体育着やジャージなど必要な物を用意しなければならぬ。町独自で就学援助対象の新学期1年生に3万円の制服費の上乗せ補助を考えるべきではないか。
- 答** 町長 話を聞いて、対象者に行っていくかなければならないことと率直に感じた。担当課と相談していく。
- 問** 支援を必要とする子どもたちのなかで「見えにくい」子ども達の支援をどう行っていくのか。
- 答** 町長 声を聴き町政に反映させていくことが最も大事。支援は、町の使命と考える。

輝
久保 健二
く ぼ けん じ

区画整理で税収増!財源の確保を



- 問** 竹間沢通西地区土地区画整理事業において令和4年に準備委員会が立ち上がり、令和6年には業務代行予定者が決定したが、県との協議も含めた進捗状況は。
- 答** 都市計画課 業務代行予定者に事務局業務を引き継ぎ、町は県に報告している。
- 問** この後の行政の業務は。
- 答** 都市計画課 都市計画上の手続きや農林調整等。
- 問** 農林調整の協議を行う際、どの程度の賛同率が必要と捉えているか。
- 答** 都市計画課 農地に関しては100%必要と県より指導を受けている。
- 問** 世界農業遺産に認定されたことで、通西土地区画整理事業を含め、農地を活用した交渉等、事業を進めるにあたり影響はないのか。
- 答** 都市計画課 影響が出ない様事業の必要性等を国、県に丁寧に説明していく。
- 問** 支出ばかりが目につく事業において、税収の増等、見込める事業の通西土地区画整理事業に対する期待は。
- 答** 町長 工業系の土地区画整理事業の事業化推進として



三芳町竹間沢地域 竹間沢通西地区土地区画整理事業中から期待、今後の動向に注目!

- 期待している。今後準備会の進捗状況を見据えながら都市計画手続き等、必要な手続きを進めていく。**
- 問** 道路の陥没、空洞化に対する町の点検、対応は。
- 答** 上下水道課 日本下水道協会の維持管理指針に準じ点検を実施している。
- 問** 道路交通課 日常の目視による点検の他、住民等からの連絡があった際には迅速に対応している。道路内における埋設管の破損が原因と疑われる場合には埋設管管理者と連携している。
- 問** 町の計画にある道路工事や整備に合わせ、上下水道管、他の埋設物等の点検、調査、修繕等をする計画を立てることは出来ないか。
- 答** 上下水道課 既存の工事に合わせ実施している。

日本共産党
光下 重之
みつ した しげ ゆき

コミバスが入らない地域なくそう



- 問** 10月から循環ワゴンのコミュニティバス試行運転が3路線で始まるが、藤久保第一区、第二区、第四区横松地区・高層マンション群、第五区など行政連絡区単位でいって最初から入らない地域が設定されているのは問題ではないか。
- 答** 政策推進室 藤久保第一区など実際に走ってみて安全な通行の妨げになるのではと危惧されるのはずしている。指摘の点はよくわかっているので、実証実験しながら考えていきたい。
- 問** 主に藤久保、北永井、竹間沢の地域でライフバスと並走する区間が3路線とも各1km前後ある。その部分にはライフバスに配慮してほとんど停留所をつくっていない。コースを変えて「住宅地のなかにもっと入っていけばいいのに、もったいない」と思うが。
- 答** 政策推進室 基本的に幅員5m以上と大きな通りを選択することになる。指摘は理解できる。試行運転の中で考えていきたい。
- 問** 交通不便地域の解消と交通弱者対策が最優先課題だ。今回、一部5m以下の道路も



幅員5m 以下の住宅内道路

- ルートに入っている。その点で藤久保をはじめ全地域でルート拡大、変更の余地があるのではないか。**
- 答** 町長 地域の住民の安全と運転手の負担などを考え今度のルートになった。走りながら考えていきたい。
- 第3・4半期の補正予算にもっと政策的経費を**
- 問** 12月議会での第3・4半期の補正予算は、毎年90%前後が基金積立で事業はほとんどない。もっと政策的経費を計上して事業を展開してほしいが。
- 答** 財政デジタル推進課 年度末まで3カ月しかないのに、事業展開は新年度予算で対応することになる。

表彰されました

内藤美佐子議長が全国町村議会議長会会長より、町村議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に特に顕著な功労が認められ、町村議会議員特別表彰を受賞しました。
おめでとうございます。



議会の動画を配信しています。



議会の動画をインターネット動画配信サイト YouTube 上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会
中継ページ

次の議会定例会は

6月3日 (火)
開会の予定です



お気軽に傍聴へ
お越しください

声の議会だより

朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで見ることができます。



編集後記

3月定例会は約1か月にわたり開かれ、新規事業や町の未来に関わる重要な議案について活発な議論が交わされました。

なかでも、本年度予算は三芳町過去最大の185億円となり、町の更なる発展に向けた重要な一歩となりました。議会としても、住民の皆さまの声を大切にしながら引き続きしっかりと取り組んでまいります。

本号をお届けする頃には、三芳町の木々も青々と茂り、心地よい風が吹く緑の季節となっています。本号の表紙は、住民の皆さまから募集した子どもの写真を使用し両面表紙としました。未来を担う子どもたちの笑顔が、町の明るい未来を象徴しているように感じます。

今後も、より分かりやすく、親しみやすい議会だよりをお届けできるよう努めてまいります。皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

(委員 長野

議会広報広聴常任委員会

委員長 菊池 浩二
委員 長 上 地 義典
委員 長 美津子
委員 光 重子
委員 桃 園子
委員 細 谷 真美
委員 増 野 美
委員 長 野 美

傍聴人数

本会議		YouTube 視聴回数
令和7年 第2回定例会		
2月27日	議案審議	2人 94
2月28日	一般質問	10人 162
3月3日	一般質問	10人 141
3月4日	一般質問	4人 127
3月25日	議案審議・閉会	1人 75
合 計		27人 524
委員会		YouTube 視聴回数
2月28日	議会運営委員会	0人
3月5日	全員協議会	0人
3月6日	予算及び総合計画特別委員会	0人 131
3月7日	予算及び総合計画特別委員会	1人 201
3月10日	予算及び総合計画特別委員会	0人 238
3月11日	予算及び総合計画特別委員会	0人 137
3月13日	予算及び総合計画特別委員会	0人 153
3月18日	議会広報広聴常任委員会	0人
3月19日	厚生文教常任委員会	0人
3月19日	総務常任委員会	0人
3月21日	議会運営委員会	0人
合 計		1人 935

町職員と議員の皆さんが真剣に取り組んでおられる姿を見ることができてよかったです。もっと多くの住民に傍聴してほしいと思います。

傍聴席から

本会議や委員会を傍聴された方から
ご意見・ご感想をいただきました。
※一部抜粋を含む



- ① 地域活性化発信交流拠点のことは、初めて聞いた。上富小廃校と絡めた利活用なら、事前に多くの住民の意見やアイデアを反映してほしい。
- ② 物価高に伴う暮らしにくさが日々増している。相対的貧困も増えているとおもつ。
- ③ ワゴン車のルート運行に期待している。三芳は狭いので不便なところを見付けて、運転免許返納者多いので多くの人にサービスがとどいてほしい。
- ④ 質問、答弁とも西暦にできないか？聞きづらい。



議会だよりの表紙を飾ってみませんか？



- ・氏名
 - ・住所
 - ・連絡先
 - ・写真の簡単な説明を添えて
- 右記のQRコードからご応募ください。
(皆さんに掲載の許可を頂いてください)

採用された写真には応募者（撮影者）の氏名及び在住等を掲載します。
お問い合わせは三芳町議会事務局まで
gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp
令和7年6月30日締切



ご応募は
こちらから

議会だよりのアンケート

お聞かせください
あなたの声



議会だよりにについての感想や「こんな誌面にしてほしい」など
ご意見をお寄せください。
今後の誌面作りの参考にさせていただきます。
令和7年6月30日締切

二議会だより 196

2025年5月1日発行

三芳町

公募写真
ダブル表紙
ご応募ありがとうございます

未来を
みすえる
新予算

撮影者
上富在住 前島 映美さん